



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月9日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅田 俊幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,773	30.1	888	26.0	917	29.2	573	39.6
30年3月期第2四半期	6,742	7.4	705	22.3	710	30.2	410	23.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 617百万円 (56.1%) 30年3月期第2四半期 395百万円 (81.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	70.65	69.97
30年3月期第2四半期	59.57	58.67

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	19,791	9,922	49.8	1,214.26
30年3月期	19,706	9,486	47.8	1,161.82

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 9,862百万円 30年3月期 9,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	13.6	1,500	25.5	1,500	18.0	930	39.6	114.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	8,378,700株	30年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	256,871株	30年3月期	269,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	8,115,829株	30年3月期2Q	6,895,364株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資・輸出のもち直し等により企業収益や雇用所得環境が堅調に推移し、緩やかな回復基調が持続いたしました。また、世界経済は先進国を中心に堅調を維持いたしました。一方では米中貿易摩擦影響や米国利上げに伴う新興国経済への影響、地政学リスク等により先行き不透明感が高まる状況となりました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、環境関連機器、油圧ブレーカの販売に注力しました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,773百万円（前年同期比30.1%増）、営業利益888百万円（前年同期比26.0%増）、経常利益917百万円（前年同期比29.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益573百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内セグメントは、売上高全体で5,736百万円（前年同期比10.0%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発や建替え需要の堅調を背景に売上高は3,060百万円（前年同期比12.3%増）、環境機械は排ガス規制の影響も薄れ順調に売上を伸ばした結果705百万円（前年同期比44.3%増）となりました。一方、油圧ブレーカは戦略商品の売上寄与はあったものの売上高は396百万円（前年同期比11.6%減）となりました。また、原材料売上高は580百万円（前年同期比1.7%減）及び修理売上高は374百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

海外セグメントは、堅調な海外需要を背景に北米・アジア・欧州ともに堅調に伸ばし売上高は1,728百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

南星セグメントは林業機械、スクラップ用機械、ケーブルクレーンを中心に販売に注力し、売上高は1,308百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、19,791百万円（前連結会計年度末19,706百万円）となり85百万円増加しました。現金及び預金が266百万円、流動資産のその他が185百万円それぞれ減少しましたが、原材料及び貯蔵品が229百万円、商品及び製品が205百万円、仕掛品が85百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、9,869百万円（前連結会計年度末10,220百万円）となり350百万円減少しました。長期借入金が172百万円増加しましたが、流動負債のその他が236百万円、短期借入金が196百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、9,922百万円（前連結会計年度末9,486百万円）となり436百万円増加しました。剰余金処分として配当の支払194百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益573百万円を計上したことが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において平成30年5月11日に公表いたしました通期の見直しを変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,475,332	3,208,936
受取手形及び売掛金	5,178,229	5,237,474
商品及び製品	2,504,628	2,710,373
仕掛品	150,798	236,093
原材料及び貯蔵品	1,976,622	2,206,549
その他	554,970	369,056
貸倒引当金	△13,256	△15,065
流動資産合計	13,827,324	13,953,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,146,943	2,090,509
機械装置及び運搬具(純額)	643,941	630,506
土地	1,899,798	1,900,265
その他(純額)	74,311	91,512
有形固定資産合計	4,764,995	4,712,793
無形固定資産		
のれん	188,522	167,575
その他	193,368	187,955
無形固定資産合計	381,891	355,530
投資その他の資産		
投資有価証券	331,967	363,650
繰延税金資産	315,181	314,390
その他	136,951	144,254
貸倒引当金	△52,223	△52,222
投資その他の資産合計	731,876	770,071
固定資産合計	5,878,763	5,838,395
資産合計	19,706,088	19,791,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,668,035	3,601,122
短期借入金	3,853,125	3,656,790
1年内返済予定の長期借入金	323,006	261,800
未払法人税等	357,907	315,982
賞与引当金	146,077	210,017
その他	744,067	507,431
流動負債合計	9,092,218	8,553,144
固定負債		
長期借入金	610,800	783,400
退職給付に係る負債	460,809	475,322
その他	56,215	57,627
固定負債合計	1,127,824	1,316,349
負債合計	10,220,043	9,869,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,238,322	2,252,002
利益剰余金	4,964,077	5,342,824
自己株式	△75,864	△72,324
株主資本合計	9,347,657	9,743,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,047	97,859
繰延ヘッジ損益	△327	1,102
為替換算調整勘定	△1,907	19,447
その他の包括利益累計額合計	73,812	118,409
新株予約権	64,574	60,286
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,486,044	9,922,321
負債純資産合計	19,706,088	19,791,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,742,238	8,773,386
売上原価	4,728,059	6,126,754
売上総利益	2,014,178	2,646,631
販売費及び一般管理費	1,308,794	1,757,966
営業利益	705,384	888,665
営業外収益		
受取利息	1,715	1,920
受取配当金	5,153	5,491
為替差益	526	9,138
固定資産売却益	4,189	17,862
その他	8,901	10,322
営業外収益合計	20,484	44,735
営業外費用		
支払利息	10,505	12,808
債権売却損	2,417	2,232
その他	2,778	621
営業外費用合計	15,701	15,663
経常利益	710,168	917,737
特別損失		
固定資産除却損	18,620	—
製品補償関連費用	13,918	—
特別損失合計	32,538	—
税金等調整前四半期純利益	677,629	917,737
法人税等	266,858	344,369
四半期純利益	410,770	573,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	410,770	573,368

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	410,770	573,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,056	21,812
繰延ヘッジ損益	6,175	1,429
為替換算調整勘定	△33,195	21,354
その他の包括利益合計	△14,963	44,597
四半期包括利益	395,807	617,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,807	617,965
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,216,653	1,525,585	6,742,238	—	6,742,238
セグメント間の内部売上高又は 振替高	175,607	—	175,607	△175,607	—
計	5,392,261	1,525,585	6,917,846	△175,607	6,742,238
セグメント利益	413,773	291,342	705,116	268	705,384

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額268千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,736,618	1,728,454	1,308,312	8,773,386	—	8,773,386
セグメント間の内部売上高又は 振替高	258,722	490	11,783	270,995	△270,995	—
計	5,995,341	1,728,945	1,320,095	9,044,381	△270,995	8,773,386
セグメント利益	526,479	312,117	77,164	915,761	△27,096	888,665

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△27,096千円の内訳は、のれんの償却額△20,946千円、セグメント間取引消去△6,149千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、株式会社南星機械、株式会社南星ウインテック及び暁機工株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントを従来の「国内」及び「海外」の2区分から、「国内」、「海外」及び「南星」の3区分に変更しております。